

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、壁掛手洗器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



必ず実行していただく「強制」を示します。



してはいけない「禁止」を示します。



気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意



必ず実行

- 器と壁面のすきま、排水金具の指定位置には必ずシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。



注意

- 施工前に輸送中の破損がないかご確認ください。
- 施工される際、器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。
- ALC壁には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。
- 建築工事(別途工事)にて、寸法図を参考に、器を固定するネジ位置に補強桟(幅90ミリ以上×厚さ30ミリ以上)をあらかじめ入れておいてください。
- 本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。
- 施工後の確認を必ず行ってください。
- 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器の表面にキズや汚れがつかないように、養生シート等で保護してください。

使用上のご注意



禁止

- 器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。

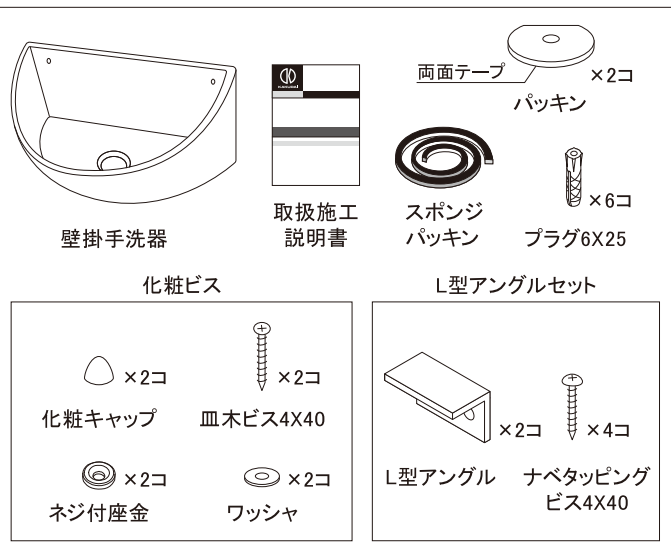


注意

- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- お手入れの際、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。
- 金属類(ヘアピン、カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは、器が破損する原因となりますので、使用しないでください。

製品同梱明細

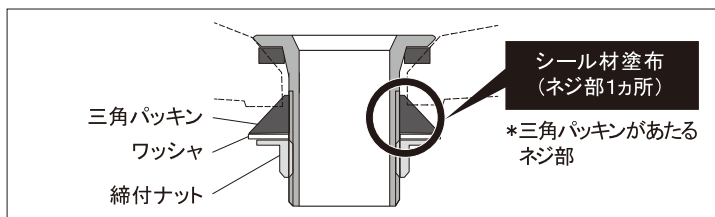
施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



取付方法

1. 排水金具(別売)を取付けます。

*詳細は器具の説明書をご参照ください。



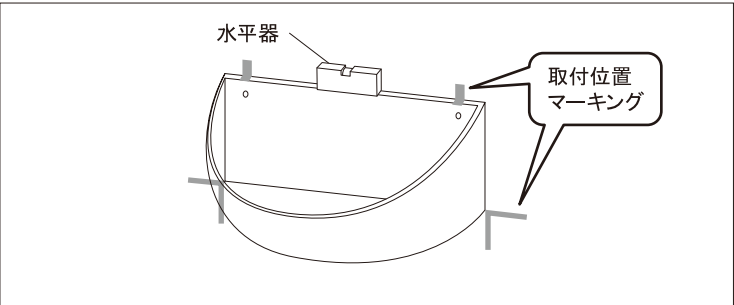
必ず実行

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

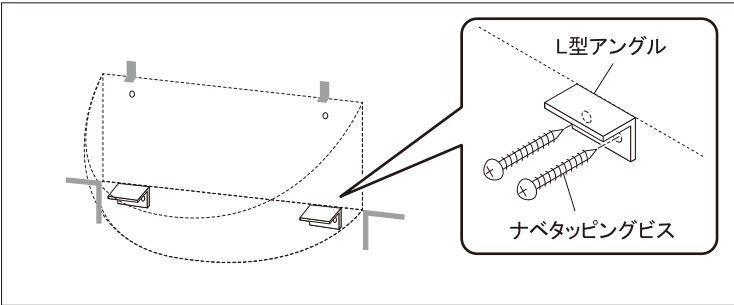
取付方法(つづき)

2. 器を取付けます。

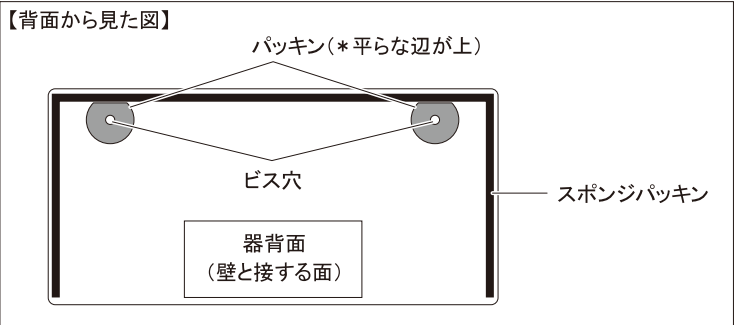
* 固定する位置には、壁の構造に応じた補強を行ってください。



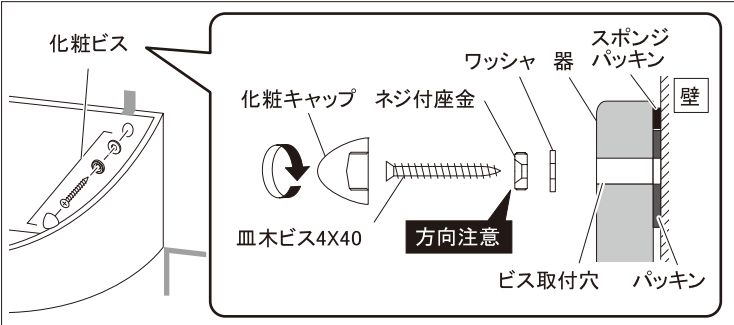
① 器を取付ける位置に器を仮合わせし、水平器でレベル出しをします。レベルが出ていることを確認したら、取付位置をマーキングします。



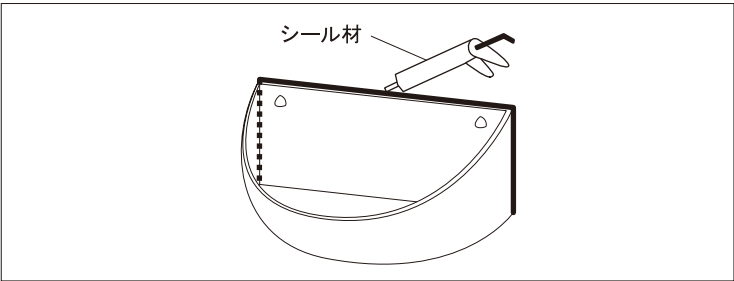
② マーキングを参考にL型アングルをナベタッピングビスで取付けます(左右2カ所)。器の各ビス穴の真下あたりを目安に、器の底面に接する位置に取付けてください。
* 壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴(φ6.0ミリ)を開け、同梱のプラグを打込んでください。



③ 器の背面(壁と接する面)に図のように、スポンジパッキン(3辺)・パッキン(左右2カ所)を貼付けます。



④ マーキングにあわせてL型アングルにのるように器を置き、化粧ビスで壁に固定します(左右2カ所)。
* 化粧ビスは図を参考に正しく取付けてください。
* 壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴(φ6.0ミリ)を開け、同梱のプラグを打込んでください。



⑤ 器と壁のすきま(境界)に、シリコンコーキングなどのシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

化粧ビスを締めすぎると、器が破損する恐れがあります。ご注意ください。特にインパクトドライバーをご使用の際は、十分にご注意ください。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。

注意 施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態等でその場を離れないでください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

施工後の確認

* 施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認を行ってください。

- ① 器の取付状態の確認
ガタつきがないか確認をします。
- ② 水栓の吐水量の確認、および調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③ 水もれ、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。

注意 メンテナンス等で、止水栓を閉じ、再び開く場合等には、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)